

こじょうライブラリー

第 73 号

13 .10 .1

名古屋市高年大学
鯉城学園図書室報

「本を読む」

どう云うわけか子どものころから本が好きだ。マンガ本や絵本、童話に始まり、推理、歴史、文学、時代小説等々、国内外、ジャンルは問わず、興味のある本は片っ端から読んできた。読み方には精読、通読、乱読、それに積読とあるそうだが、果たして自分は、どこに入るのだろうか。沢山の本を読もうとする自分には、差し詰め通読か乱読と云ったところか。人が一生かかって読める本の量は、一体どのくらいのものか、興味ある話でもある。種々雑多、様々な本が出版されている今日、どの本に手を伸ばすか選択も難しい。

昨今、「〇〇オフ」なる古本屋には、マンガ本や雑誌から、文学書、専門書に至るまで、新品同様のあらゆる分野の本が、所狭しと並んでいる。それを見て唾然とするばかりだ。それも信じられないほど安価で売られているのだ。新刊書を定価で買おうとする気が失せてしまったのは自分だけだろうか。小遣いの少なかった子どものころは、専ら図書館を利用してしたが、今のように種類が豊富でしかも安価な古本屋が当時あったとしたら、また違った形で本と接していたかも知れない。

図書館では、人気作家の新刊書となると、半年や一年待たされるのは当たり前だが、鯉城学園の図書室では、その新刊書が思いのほか早く手に入るのでビックリした。本好きの自分には、たまらない魅力でもある。最低でも週2回、授業やクラブがある日には図書室に顔を出し、大いに利用させてもらっている。今日もカバンの中には、借りた本が入っている。これを返したら、さて次は何を借りようか。お目当ての本があれば嬉しいのだが……………。

(27期文化学科 B 吉田辰夫)

※ 投稿をお待ちしております。700字程度まで。事務室の図書係までご連絡ください。

※ 7月～9月の図書室利用状況

	入室者数	貸出数
1年	326	276
2年	453	371
OB	613	655
合計	1,392人	1,302冊

※ よく読まれている本

- ・ブータン、これでいいのだ…御手洗瑞子
- ・ホテルローヤル …桜木柴乃
- ・月下上海 …柳広司
- ・夢を売る男 …百田直樹
- ・等伯 上・下 …阿部龍太郎
- ・楽園の蝶 …瀬戸内寂聴他

新刊図書（7月～9月）

著者	著書名	出版社
三浦しおん	政と源	集英社
山口恵以子	月下上海	文藝春秋
柳広司	楽園の蝶	講談社

瀬戸内寂聴他	若き日にバラを摘め	河出書房新社
内田洋子	イタリアの引き出し	Hankyu
御手洗瑞子	ブータン、これでいいのだ	新潮社
大野芳	吉田兼好とは誰だったのか	新潮社
藤野可織	爪と目	新潮社
桜木柴乃	ホテルローヤル	集英社
福井泰民、奈良峰博	珠玉の水彩画 基本技法とプロの技	グラフィック社
歴史読本出版部	カメラが撮えた愛知県の昭和	中経出版
山本むつみ	八重の桜<3>	NHK 出版
宮城谷昌光	湖底の城	講談社
佐藤愛子	かくして老兵は消えゆく	文藝春秋
曾野綾子	人間にとって成熟とは何か	幻冬舎新書
北見昌朗	愛知千年企業	中日新聞社
宮下規久朗	モチーフで読む美術史	ちくま文庫
池上彰	図解池上彰の世界の宗教が面白いほどわかる本	中経文庫

鯉城会図書ボランティアの皆様からの寄贈新刊図書（7月～9月）

著者	著書名	出版社
稲盛 和夫	生き方—人間として一番大切なこと	サンマーク出版
大川弥生	「動かない」と人は病む—生活不活発病とは何か	講談社現代新書
渡辺和子	置かれた場所で咲きなさい	幻冬舎
日川好平	海の城—佐治与九郎水軍記	風媒社
日川好平	最後の京都所司代	風媒社
枅野俊明	怒らない禅の作法	河出書房新社
富安徳久	人生は与えた分だけ与えられる—尽生と志事—	PHP
田中修	植物のあっぱれな生き方	幻冬舎新書
日下公人	いま日本人に読ませたい「戦前の教科書」	祥伝社
原田マハ	ジヴェルニーの食卓	集英社
中条てい	アイミタガイ	幻冬舎
池上彰	世界を変えた10人の女性	文藝春秋
中見真理	柳宗悦	岩波書店
池上彰	先生！	岩波書店
大西康之	稲盛和夫最後の闘い	日本経済新聞社
畠中恵	たぶんねこ	新潮社
福田俊司	タイガの帝王 アムールトラを追う	東洋書店
林修	今やる人になる	宝島社
「写楽」編集部	日本国憲法	小学館
話題の達人倶楽部	大人の国語大全	青春出版社
後藤武士	読むだけですっきりわかる現代史 国連成立から冷戦の終わりまで	宝島社
渡辺一枝	消されゆくチベット	集英社
若狭勝	嘘の見抜き方	新潮新書
立花隆	2030年世界はこう変わる	講談社
辻村深月	島はぼくらと	講談社
鈴木浩三	江戸の風評被害	筑摩書房
百田直樹	風の中のマリア	講談社
渡辺淳一	愛ふたたび	幻冬舎
永六輔	男のおばさん—楽しく年をとる方法	大和書房